2025 年度　授業コード：22111313

授業科目	＊専門研究Ⅰ（文屋）						実務家教員担当科目	－			
単位	2	履修	必修	開講年次	3		開講時期	通年			
担当教員	文屋　典子										
授業概要	各々の学生の関心のあるテーマに基づいて指導教員を選択し、専門領域の研究を行う。指導は 10 名程度の小グループで行う。なお、「専門研究Ⅰ」は 4 年次に履修する「専門研究Ⅱ」とともに、原則として同一教員により指導を行う。										
授業形態	対面授業				授業方法						
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	教員の指導の下、個人あるいはグループで設定したテーマに基づいて研究を深めることができる。個人あるいはグループで設定したテーマに基づいて、調べたりまとめたりすることができる。										
理想的レベル	個人あるいはグループで設定したテーマに基づいて、調べたりまとめたりすることができる。さらにそのプロセスにおいて、独自の視点で考察し、他者に説明することができる。										

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	0	
小テスト	0	
レポート	0	
発表（口頭、プレゼンテーション）	0	
レポート外の提出物	0	
その他	100%	ゼミ活動に対する意欲・態度等。詳細は各教員の研究指導領域の資料内容を参照。

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	WE31701J

学習課題（予習・復習）	1 回の目安時間（時間）
各自のテーマに関して、文献検索等を行い、内容をまとめる。	1

授業計画	
第 1 回	1. 指導教員の選択 ・2 年次の 12 月にオリエンテーションを実施し、指導教員の選択に関する手続きの説明、各教員の指導領域の資料配付を行う。 ※学生の選択の結果によっては、指導人数の調整を行うことがある。 2. 指導方法・内容 ・「演習（ゼミナール）」の方法をとる場合が多いが、各担当教員の指示による。 ・3 年次、4 年次と継続した指導を行う。基本的に 4 年次ではより専門的な研究を深める。
テキスト	担当教員ごとに紹介する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	担当教員ごとに紹介する。

2025 年度　授業コード：22111313

課題に対するフィードバックの方法	担当教員毎に提示する。
学生へのメッセージ・コメント	各教員の研究指導領域の資料内容について確認し、関心のあるテーマについて考える。 専門研究は、学生が自らの学問的関心に基づいて各自の研究領域やテーマを深めるものである。主体的・積極的姿勢で臨む。